

東山中学校

『まなびフェスト(まなびプラン)』

令和7年度版

本校教育目標

かくほうていせつ『確豊逞節』

◇東山中学校の教職員は、家庭や地域の方々と協力し合い、生徒の幸福な将来を願って全力で応援していきます！◇

確かめる学習(知育)

豊かな心(徳育)

逞しい体(体育)

節度ある生活(規律)

目指す生徒像		取り組みの具体的指標と達成目標 (肯定回答が8割をこえるように取り組みます)			
		学校の役割と取り組み		家庭・地域の役割と取り組み	
		生徒の取り組み	教師の取り組み	家庭の取り組み	地域の取り組み
自らの生活を高める生徒	意欲を持って 自ら学習に励む生徒	① 毎日の授業を大切に、学習に取り組みましょう。(チャイム前着席の徹底、忘れ物ゼロ、ノートをしっかりとる等、学習規律の定着に努めましょう。) ② 家庭学習・東中スタディの習慣化に努めましょう(目標時間1年生80分、2年生90分、3年生100分)。 ③ 積極的な発言を心がけ、わからないことは先生や級友に聞くなど、その日のうちに解決しましょう。 ④ 話し合い活動へ積極的に参加しましょう。 ⑤ 進路学習を通し、中学卒業後の自分の将来について、具体的なイメージをもてるようにしましょう。 ⑥ 各種検定へ年1回以上は挑戦しましょう。	① 生徒が「わかる・できる・やってみようと思える」授業を目指すとともに、各教科とも学び方や学習規律を身につけさせます。 ② 家庭学習の定着化・東中スタディや課題を提出できるよう、指導に努めます。 ③ 学習理解に困っている生徒の個別支援の充実に努めます。 ④ 話し合い活動の充実に向けた手立てを、授業・学級活動等で実践します。 ⑤ 地域と連携し、3年間を見通した進路学習・キャリア教育の推進に努め、生徒が進路の具体的なイメージを持てるよう指導します。 ⑥ 生徒が各種検定に年1回以上挑戦できるよう声かけをします。	① 登校前に、学習道具の確認をさせましょう(一声かけましょう)。 ② 学習に集中できる環境(時間帯・学習空間・ノーメディア等)を整えましょう。 ② 学年の家庭学習時(1年生80分、2年生90分、3年生100分)を継続するよう励ましましょう。 ⑤ 中学卒業後の将来について話し合いましょう。 ⑥ 各種検定に年1回以上挑戦させましょう。	⑤ 職場体験学習や社会見学、社会体験学習などへ協力・支援しましょう。 ⑥ 地域の歴史や地域の魅力・未来像について生徒と語り合いましょう。 ⑦ 地域の皆さんも、積極的に生徒たちに挨拶や声をかけましょう。
	道筋を立てて 根気強く追究する生徒				⑩ 地域の行事やボランティア活動に生徒を誘い参加させましょう。 ⑪ いじめは絶対やめさせましょう。 ⑫ 「人として社会の一員として」大切なことを教えてあげましょう。
	自分の将来について考え 実現に努力する生徒				
みんなと協力できる生徒	挨拶ができ 相手の立場を 尊重できる生徒	⑦ 明るく元気な挨拶を心がけましょう。 ⑧ 学校生活や行事に、学級・学年の仲間と協力して取り組み、絆を深めましょう。	⑦ 生徒や来客に、教職員自ら、進んで笑顔で明るく元気な挨拶をします。 ⑧ 生徒が、学校生活や行事を通し、仲間との絆を深められるよう手立てを組んで実践します。	⑦ 家庭の中で、大人が進んでお子さんに挨拶し声をかけましょう。 ⑧ 学校での出来事や様子について積極的にお子さんと対話しましょう。	⑩ 地域の行事やボランティア活動に生徒を誘い参加させましょう。 ⑪ いじめは絶対やめさせましょう。 ⑫ 「人として社会の一員として」大切なことを教えてあげましょう。
	心豊かな生徒	⑨ 朝読書および家で、毎月1冊は読破しましょう。 ⑩ 合唱・清掃・ボランティア活動へ積極的に取り組みましょう。	⑨ 生徒とともに、朝読書・清掃・ボランティア活動に取り組みます。 ⑩ 生徒の合唱活動が向上するように取り組みます。	⑨ 家庭で読書を勧めましょう。 ⑩ 家庭の中で、生徒ができる仕事を分担し、積極的に取り組ませましょう。	⑫ 「人として社会の一員として」大切なことを確認しましょう。
	正しく判断できる生徒	⑪ いじめは「しません・させません」。 ⑫ 集団生活のきまりを遵守し、時間の厳守やTP0に応じた身なり・言動・マナーを身につけましょう。	⑪ いじめを見逃さないように、生徒の生活を見守ります。 ⑫ 道徳の授業や学級指導・生徒指導を充実させ集団生活におけるきまりや時間の厳守、TP0に応じた身なり・言動・マナー等の指導の徹底を図ります。	⑪ いじめは絶対やめさせましょう。 ⑫ 「人として社会の一員として」大切なことを確認しましょう。	
きまりや約束を守る生徒	健康で明るく 気力に満ちた 生活を営む生徒	⑬ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化に努めましょう。 ⑭ 手洗い・うがい・歯磨きを励行しましょう。 ⑮ 落ち着いた生活を心がけ事故の防止に努め、安心・安全な学校生活を送りましょう。	⑬ 家庭と連携し、生徒のよりよい生活習慣づくりについて情報共有し、指導に生かします。 ⑭ 手洗い・うがい・歯磨きの習慣化に向け、啓発に努めます。 ⑮ 命を最優先にし、生徒が安心・安全な生活ができるよう指導します。	⑬ 早寝・早起きの習慣づくりと朝ご飯の準備を心がけましょう。 ⑭ 手洗い・うがい・歯磨きを励行させましょう。 ⑮ 学校と協力して登下校の生徒の安全を確保しましょう。校との情報共有に努めましょう。	⑮ 生徒が安全に登下校できるように、地域の危険箇所や生徒の登下校の様子について、学校と情報共有をしましょう。
	決めたことを 最後まで粘り強く やり遂げる生徒	⑯ 毎日60分以上(登下校、家の手伝いを含む)運動しましょう。 ⑰ 学校部活動や地域部活動、スポーツクラブ等の諸活動に積極的に参加し、自分の力を伸ばす努力をしましょう。	⑯ 「60運動」を推奨します。 ⑰ 諸活動への参加を奨励し、活動を継続できるよう声かけを行います。	⑯ 休日は毎日60分以上の運動(家の手伝いを含む)をさせましょう。 ⑰ お子さまが参加を決めた諸活動を継続できるよう励ましましょう。 ⑱ バランスの良い食生活を心がけましょう。	※ 体育祭や東中祭(文化祭)の際は、学校に来て生徒の様子を見ましょう。
	心身を鍛える生徒	⑱ 好き嫌いなく、バランスのとれた食生活を心がけましょう。 ※ 就寝の1時間前には、メディア機器の利用を控えましょう。 ※ 一関市では「居間9ルール」継続	⑱ 生徒の食の状況把握に努めるとともに、個々の状況に応じ、できるだけ残さず食べるように声かけを行います。 ※ 過度なメディア機器の利用が、生徒の心身に及ぼす影響について情報発信します。	※ 就寝の1時間前には、お子さまのメディア機器の利用を控えさせましょう。 ※ 一関市では「居間9ルール」継続	